

殺虫殺菌剤(クルーザーMAXX)の種子処理で 大豆の初中期病害虫を楽に防除しましょう

紫斑病(子葉の発病)、アブラムシ類、
フタスジヒメハムシ、タネバエ等の防除が可能です
病害虫の被害減少により、**出芽率が向上**します



クルーザーMAXXを
塗沫処理したダイズ種子
種子1kgあたり8ml(9.2g)を
均一に塗沫して下さい

主な適用病害虫



紫斑病

子葉、茎、葉、子実に
発病します



アブラムシ類

褐斑粒の原因ウイルス
を媒介します



フタスジヒメハムシ

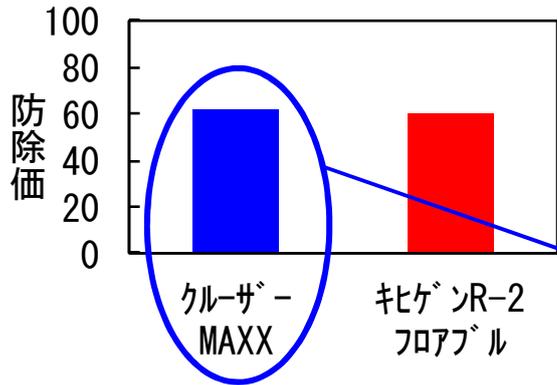
成虫が播種した
種子、葉、茎、莢などを
食害し、幼虫が根粒を
食害します。



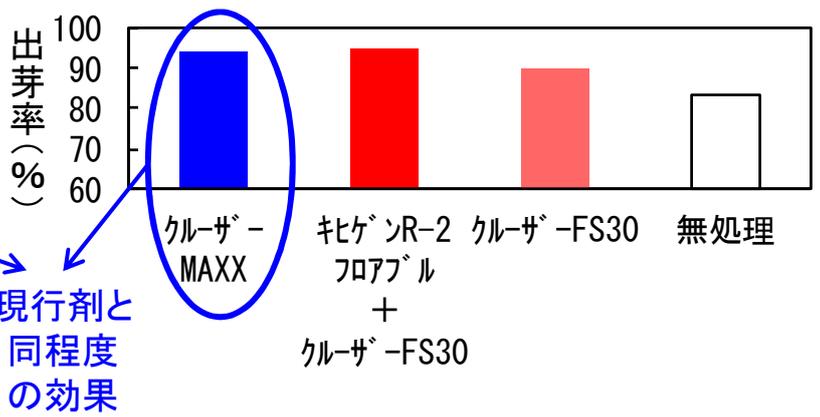
タネバエ

幼虫が種子や
出芽直後の苗
を食害します

紫斑病(子葉の発病)に対する効果

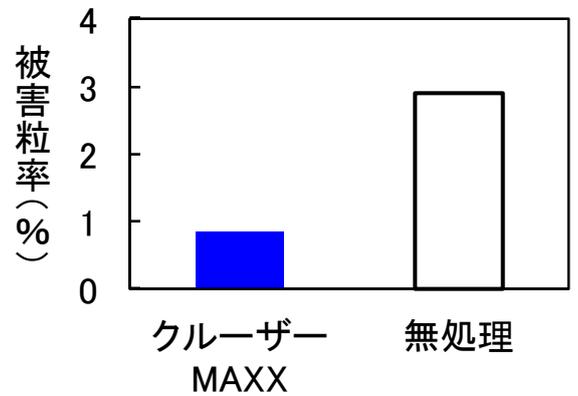
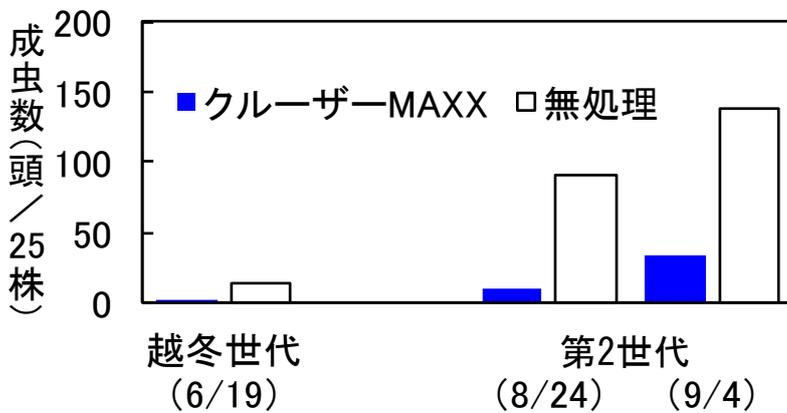


出芽率に及ぼす影響

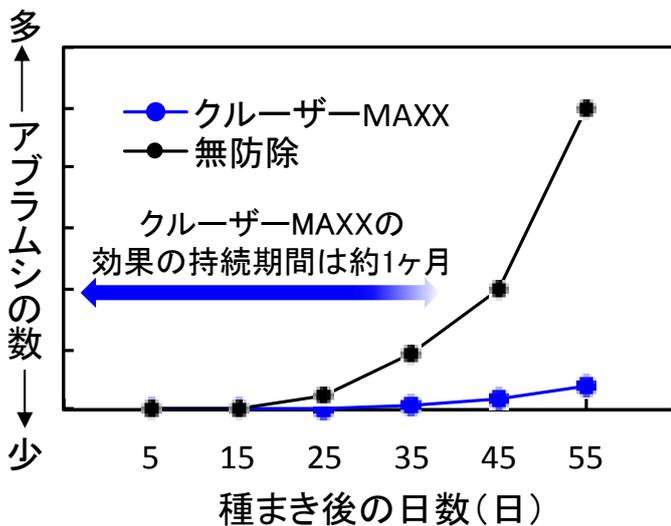


現行剤と同程度の効果

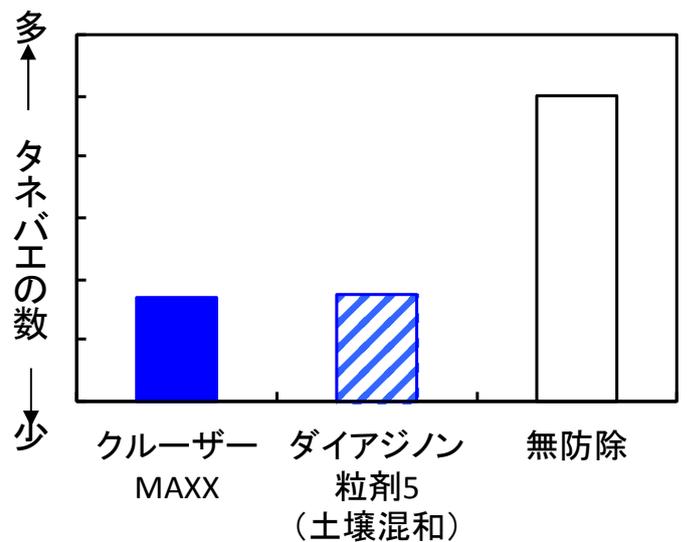
フタスジヒメハムシに対する防除効果



アブラムシ類に対する防除効果



タネバエに対する防除効果



補 足 事 項

クルーザー-MAXXを広域的に利用することによって防除効果がより安定します。
ネキリムシ類にも農薬登録があります(効果はダイアジノン粒剤5と同程度)。
この技術は、大豆の種子採種ほ&初中期病害虫の被害で困っている地域での利用をおすすめします。

問い合わせ先
鳥取県農林総合研究所
農業試験場
環境研究室
電話 0857-53-0721
FAX 0857-53-0723

本書から転載複製する場合には必ず農業試験場の許可を受けて下さい